

第 295 回 日本皮膚科学会東海地方会
—清島真理子教授 退任記念地方会—
プログラム

日 時 2021 年 3 月 21 日 (日) 9:30～17:57

会 場 WEB 開催

「お知らせとお願い」を必ずご確認ください。

東海地方会 演題発表

日時 2021 年 3 月 21 日 (日) 9:30～11:48

ランチョンセミナー

日時 2021 年 3 月 21 日 (日) 12:00～12:45

東海地方会 総会

日時 2021 年 3 月 21 日 (日) 12:45～13:00

退任記念講演

日時 2021 年 3 月 21 日 (日) 13:00～13:40

東海地方会 演題発表

日時 2021 年 3 月 21 日 (日) 13:50～17:57

東海地方会 事務局

ホームページ : <http://jd-tokai.umin.jp>

お問い合わせ E-mail : tdjda-hq@umin.ac.jp

開催担当

岐阜大学大学院医学系研究科・皮膚病態学

〒501-1194 岐阜市柳戸 1-1

TEL : 058-230-6397 / FAX : 058-230-6396

お知らせとお願い

COVID-19 感染拡大の終息が見込めないことから、第 295 回東海地方会は Zoom ウェビナーを用いた WEB 開催とさせていただきます。

参加には事前の参加登録が必要となります。以下のご案内通りご準備いただきますよう、お願い申し上げます。

東海地方会当日はプログラム開始 30 分前よりログイン可能となります。プログラム開始までの間、質疑応答の方法などをスライドにてご案内させていただきます。早めにログインして頂き、ご確認ください。

1. 参加される皆様へ

◆ご準備いただくもの

- ・ Zoom のアプリケーション
公式ホームページ <https://zoom.us/download> よりダウンロードが可能です。
- ・ インターネット回線
有線をご利用いただくなど、より安定したネットワーク環境を確保してください。
- ・ 視聴デバイス：PC、タブレット、スマートフォン
スペックによっては、長時間のスムーズな視聴が困難な場合がございます。
- ・ 内蔵もしくは外付けのスピーカーやヘッドホン、マイク

◆参加受付

登録期間：3月8日（月）～3月21日（日）

登録方法：第 295 回専用ホームページ <http://www.marobon.com/tjda295/>へアクセスして頂き、参加登録ボタンより申込画面へお進みください。必要事項をご入力いただき、登録が完了いたしますと、当日のアクセス方法・パスワードがメールにて通知されます。

◆単位受付

- ・ 旧専門医制度（6 単位）：3月21日（日）9:00～16:00 まで
- ・ 新専門医制度（一般演題 2 単位）：9:30～11:48 と 13:50～17:57 の演題発表で、それぞれ 2 時間以上の視聴が必要となります。

※WEB 配信視聴ログの入室から退室までの滞在時間でもって受付いたします。このログは当日の Zoom ウェビナー URL にアクセスした時とアクセスを切断して終了した際に記録されます。

* 大学医局で視聴される先生は、医局内で別途リストを作成していただき、そのリストご提出で受付させていただきます。

【WEB 開催時のトラブルが生じた場合について】

サーバーダウンなどのトラブルが生じた際には、その旨を日本皮膚科学会に報告をします。時間通りにログインできなかった場合でも、まずはログインをして頂きログイン履歴を残して頂くようお願い致します。履歴は担当校から日本皮膚科学会へ送ります。単位受付が承認されるか否かは個別の対応になります。個々のご相談に事務局が対応しかねる場合がございますのでご了承ください。アクセス集中によるサーバーダウンを回避するため、アクセス頂くデバイスは 1 つとし、早めにログインして頂くよう重ねてお願い申し上げます。

2. 口演発表の皆様へ

◆データ受付

- ・事前に音声入りの発表データを作成し、下記の通りご提出ください。

提出期限：3月18日（木）

提出先：<http://www.marobon.com/tdjda295/>へアクセスして頂き、案内に従って音声付き発表データをアップロードしてください。Zoom使用の性質上、特にプライバシー保護指針に則った内容でデータをご準備ください。

- ・ファイル名は「演題番号_演者名」にしてください。
- ・データはご発表後、事務局にて責任を持って消去いたします。
- ・スライド供覧から一般演題への変更はできません。

◆口演発表

- ・一般演題：口演5分 質疑応答2分
- ・スライド供覧：口演3分 質疑応答2分

◆利益相反（COI）申告について

- ・日本皮膚科学会 COI ガイドラインに準じて、1枚目のスライドに COI 申告を掲載してください。

3. 質疑応答について

- ・Zoomの手上げ機能にて質問をお願いいたします。
- ・座長の指示に従い、ご所属とお名前を述べてから簡潔に礼節を持って発言してください。

4. 変更について

- ・「演題名」「演者名」「プログラム用60文字抄録」の変更は、学会前日までに事務局へメールにて申告してください。「スライド供覧」から「一般演題」への変更は学会進行に支障が出ますので、ご遠慮ください。
- ・「日皮会誌用200文字抄録」の変更は、変更したデータを学会終了1週間後までに担当校へ電子メールにてお送りください。

岐阜大学大学院医学系研究科皮膚病態学：yoko@gifu-u.ac.jp

5. 会員メーリングリストの作成について

今後の開催情報を迅速にお知らせするため、会員メーリングリストを新設いたしました。

メールアドレス未登録の方は、下記 QR コードから URL リンクを読み込んでいただき、専用フォームからご登録ください。

こちらはメールアドレスご登録に特化したフォームとなります。ご所属や住所を変更される方は通常通り変更届をご提出ください。



6. ホームページについて

今後の東海地方会の開催の有無、形態などの情報はホームページに掲載していく予定ですのでご確認ください。

1 (一般) 遠紫外線 Far-UVC 領域における皮膚への影響

くにさだ まこと¹⁾、山野 希¹⁾、西明 愛子²⁾、大橋 広行²⁾、五十嵐 龍志²⁾、錦織 千佳子¹⁾

¹⁾神戸大学、²⁾ウシオ電機株式会社

新型コロナウイルスに対して有効に不活化させる 222nm-UVC ランプ他、遠紫外線 Far-UVC 領域における皮膚に対する影響を検討した。

2 (一般) 当院におけるオマリズマブを用いた特発性慢性蕁麻疹に対する治療の現状

ながい みき¹⁾、藤井 建人²⁾、水谷 有希²⁾、岡村 直之¹⁾、丹羽 宏文¹⁾

¹⁾岐阜県総合医療センター、²⁾岐阜大学

過去3年8か月間で52名の患者に対して、オマリズマブを使用した。総投与回数は3回もしくは、8-12回の患者が多かった。

3 (一般) 各種検査により蕎麦の摂取制限を解除できた成人例

すずき かよこ^{1,3)}、森 雄司^{2,3)}、近藤 康人^{2,3)}、二村 恭子^{1,3)}、佐藤 奈由^{4,5)}、
中村 政志^{4,5)}、松永 佳世子^{1,4)}、矢上 晶子^{1,3)}、深谷 嘉英⁶⁾

¹⁾藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科、²⁾同小児科、

³⁾藤田医科大学 総合アレルギーセンター、⁴⁾同アレルギー疾患対策医療学、⁵⁾ホーユー総合研究所

⁶⁾深谷皮膚科

27歳、男性。幼少期に2回の蕎麦による症状誘発エピソードあり。プリックテスト、血清学的検査後に負荷テスト施行。

4 (ス) 屋内で発生した凍傷の1例

くろだ けい、渡邊 直樹

公立陶生病院

81歳女性。暖房のない自宅にて濡れた靴下を履き過ぎしていた。両足趾の発赤、腫脹、色調不良を認め屋内で発生した凍傷と診断。

5 (一般) 強い腹痛を伴い、ステロイドパルス療法を行ったIgA血管炎と考えられた1例

まぶち ゆくみ¹⁾、足立 秀禎¹⁾、榎原 あゆみ¹⁾、鈴木 伸吾¹⁾、平岩 厚佑²⁾

¹⁾豊田厚生病院、²⁾同内科

44歳男性。両足関節痛と左下腿腫脹紫斑で入院。下痢腹痛出現しIgA血管炎が疑われ、腹部症状改善にステロイドパルスを要した。

6 (ス) 陰部に限局した水疱性類天疱瘡の一例

^{しもむら} 下村 ^{まいこ} 麻衣子、明石 憲佳、野田 達宏、天野 友里恵、小泉 遼、水田 三由希、満間 照之
一宮市立市民病院

症例 70 歳男性、初診 3 か月前より生じた陰囊部の水疱出現を主訴に来院、皮膚生検及び抗体検査により水疱性類天疱瘡と診断した。

7 (一般) 抗てんかん薬が難治の一因と考えた水疱性類天疱瘡の 1 例

^{かとう} 加藤 ^{たけし} 威、塚本 雄大、前田 泰広、中西 健史、藤本 徳毅
滋賀医科大学

70 歳代、男性。ステロイドで治療を行ったが反応不良であり、内服中の抗てんかん薬による CYP3A4 誘導が原因と考えた。

セッション 2

10:15~11:00

座長

永井 美貴

8 (一般) 壊疽性膿皮症患者に対する顆粒球吸着除去療法の治療効果

^{ひがし} 東 ^{ゆうこ} 裕子、指宿 敦子、馬場 直子、多田 浩一、藤井 一恭、金蔵 拓郎
鹿児島大学

鹿児島大学皮膚科で壊疽性膿皮症に対して顆粒球吸着除去療法を受けた患者、延べ 19 例の治療効果を検討した。

9 (一般) 担癌患者の膿疱性乾癬に顆粒球単球吸着除去療法と病巣感染治療が奏功した症例

^{おおくら} 大倉 ^{まさひこ} 正寛、小林 知子、川上 洋、阿部 名美子、原田 和俊、大久保 ゆかり
東京医科大学

85 歳女性。肝細胞癌切除後、膿疱出現。GPP の診断で GMA 施行。癌再発し病巣感染治療とアプレミラスト追加で症状安定。

10 (ス) ニボルマブ投与中に生じた膿疱性乾癬の一例

^{たけだ} 竹田 さゆり、清水 真、植田 麻理子、山田 尚人、梶村 有里子、滝 笑津子、嘉陽 織江
名古屋医療センター

82 歳男性、腎細胞癌でニボルマブ投与開始 4 ヶ月後に四肢に皮疹が出現し、皮膚生検で膿疱性乾癬の診断となった。

11 (一般) 再発性環状紅斑様乾癬の 1 例

^{おおばやし} 大林 ^{みゆか} 三裕佳¹⁾、中村 賢人¹⁾、古橋 卓也¹⁾、森田 明理²⁾

¹⁾春日井市民病院、²⁾名古屋市立大学

50 歳、女性。月経周期に伴い、四肢体幹に鱗屑を伴う環状紅斑の出現を繰り返しており、再発性環状紅斑様乾癬と診断した。

12 (一般) 家族間で異なる臨床を呈した *CARD14* 変異を有する炎症性角化症の 3 例

岩田 浩明¹⁾、羽賀 直哉¹⁾、宮内 俊成¹⁾、Peh Jin Teng¹⁾、小林 仁²⁾、氏家 英之¹⁾

¹⁾北海道大学、²⁾札幌市

同一の *CARD14* 変異を有するが、尋常性乾癬、毛孔性紅色糝糠疹、掌蹠角化症と異なる臨床を呈する炎症性角化症の家族例。

13 (ス) dupilumab が奏功した Netherton 症候群の一例

秋山 真志¹⁾、村瀬 千晶¹⁾、滝 奉樹¹⁾、武市 拓也¹⁾、須賀 康²⁾

¹⁾名古屋大学、²⁾順天堂大学附属浦安病院

17 歳、女性。dupilumab 治療 6 ヶ月で、魚鱗癬病変、湿疹病変、共に軽快。頭髮の伸長が見られ、血清 IgE、TARC も減少。

14 (一般) 偏光顕微鏡下に見いだされたネザートン症候群の特徴的毛髪所見

内海 大介¹⁾、安田 正人²⁾、天野 博雄³⁾、須賀 康⁴⁾、清島 真理子⁵⁾、高橋 健造¹⁾

¹⁾琉球大学、²⁾群馬大学、³⁾岩手医科大学、⁴⁾順天堂大学浦安病院、⁵⁾岐阜大学

8 人のネザートン症候群患者毛髪を偏光フィルターの存在下に観察し、診断に有用な新規の特徴的異常偏光所見を見出した。

セッション 3

11:00~11:48

座長

周 円

15 (ス) X 連鎖性劣性魚鱗癬、尋常性魚鱗癬、アトピー性皮膚炎の合併例

中根 啓允¹⁾、吉川 剛典¹⁾、武市 拓也¹⁾、河野 通浩²⁾、秋山 真志¹⁾

¹⁾名古屋大学、²⁾秋田大学

10 代男性。四肢の過角化、鱗屑。体幹、四肢の湿疹病変。遺伝子解析で *STS* 欠失と *FLG* 変異あり。保湿指導で症状は改善傾向。

16 (一般) 炎症性線状疣贅状表皮母斑の臨床像を呈し、変動性紅斑角皮症のモザイクと診断した 2 例

久保 亮治¹⁾、青木 里美¹⁾、佐々木 貴史²⁾、梅垣 知子¹⁾、清島 真理子³⁾、Nguyen NhuHa⁴⁾、天谷 雅行¹⁾

¹⁾慶應義塾大学、²⁾慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター、³⁾岐阜大学、

⁴⁾ベトナム国立 QuiHoa 癩皮膚科病院

臨床的に ILVEN と診断された 2 例において、病変部表皮にコネクシンの体細胞変異を同定し、変動性紅斑角皮症のモザイクと診断。

17 (ス) 多彩な皮疹を呈した抗 ARS 抗体陽性皮膚筋炎の一例

牧原 実紗子、桃原 真理子、武市 拓也、室 慶直、秋山 信志

名古屋大学

60 歳女性。10 年前に抗 ARS 抗体陽性皮膚筋炎と診断。膝にゴットロン徴候、手指に色素斑、臀裂部に硬化性局面を認めた。

18 (一般) 抗 NXP-2 抗体陽性皮膚筋炎の 1 例

まつしま じゅり¹⁾、齋藤 健太¹⁾、福島 英彦¹⁾、田中 義人¹⁾、岩田 洋平¹⁾、室 慶直²⁾、
杉浦 一充¹⁾

¹⁾藤田医科大学、²⁾名古屋大学

48 歳男性。左頬部の紅斑と腫脹を認め当院受診。抗 NXP-2 抗体陽性の皮膚筋炎と診断。ステロイドとタクロリムスの内服で経過良好。

19 (一般) 良好な経過中に急速に心不全を生じた皮膚筋炎の 1 例

はせがわ みのる¹⁾、宇都宮 慧¹⁾、尾山 徳孝¹⁾、濱口 儒人²⁾

¹⁾福井大学、²⁾金沢大学

50 代女性。皮膚、筋、肺の症状は軽快していたが、心筋炎を発症して免疫抑制療法を強化。心病変は見逃されやすく注意が必要。

20 (ス) 抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の再燃にミコフェノール酸モフェチル(MMF)が有効であった 1 例

いちき なおひさ
市來 尚久、水野 雄貴、松山 かなこ、水谷 陽子、周 円、清島 真理子

岐阜大学

77 歳女。皮膚筋炎の治療開始 3 年後に抗体価再上昇、間質性肺炎悪化があり、ステロイド増量、タクロリムス、MMF 併用で軽快。

21 (ス) 不整脈を合併した抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の 1 例

あかし のりか
明石 憲佳、下村 麻衣子、野田 達宏、小泉 遼、満間 照之

一宮市立市民病院

48 歳女性、初診 1 ヶ月前より倦怠感と手の皮疹が出現し当科受診、抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎と診断し不整脈も認めた。

22 (一般) 3 剤併用療法が奏功した抗 MDA5 抗体陽性間質性肺炎合併皮膚筋炎の一例

いまい さとこ¹⁾、原 真望²⁾、池谷 宗一郎³⁾、速井 俊策⁴⁾、福谷 衣里子⁴⁾、武市 拓也³⁾、
室 慶直³⁾、秋山 真志³⁾

¹⁾豊橋市民病院、²⁾安城更生病院、³⁾名古屋大学、⁴⁾同呼吸器内科

39 歳女。抗 MDA5 抗体陽性間質性肺炎合併皮膚筋炎に対しステロイド、タクロリムス、シクロフォスファミド併用療法が奏功。

休 憩

11:48～12:00 (12 分)

『蕁麻疹診療における行動指針
～病態解明・薬物治療の進歩を実診療にどう生かす?～』

演 者 福永 淳

神戸大学大学院医学系研究科 皮膚科学 准教授

共催：田辺三菱製薬株式会社

略 歴

1997年3月	神戸大学医学部 卒業
1997年	神戸大学医学部附属病院 研修医 医員
1999年1月	新日鉄広畑病院(現 製鉄記念広畑病院) 皮膚科 医員
2000年4月	神戸大学医学部医学系研究科大学院 皮膚科学
2004年3月	神戸大学医学部医学系研究科大学院 修了
2004年4月	神戸大学医学部附属病院 皮膚科 医員
2005年4月	三木市民病院皮膚科 医長
2006年4月	The University of Texas, MD Anderson Cancer Center, Department of Immunology Postdoctoral Fellow
2008年4月	神戸大学大学院医学系研究科 皮膚科学 助教
2012年10月	神戸大学大学院医学系研究科 皮膚科学 診療科長補佐 (2015年5月退任)
2013年7月	神戸大学医学部附属病院 皮膚科 講師
2020年10月	神戸大学大学院医学系研究科 皮膚科学 准教授

所属学会

日本皮膚科学会 皮膚科専門医、日本皮膚免疫アレルギー学会 評議員、
日本アレルギー学会 指導医、日本研究皮膚科学会 評議員、
日本光医学・光生物学会 評議員、日本皮膚科学会 蕁麻疹診療ガイドライン第3版 作成委員、
日本皮膚科学会中部支部 代議員、日本発汗学会 評議員

総 会

12:45～13:00 (15分)

『探究、そして挑戦のススメ』

演者 清島 真理子

岐阜大学大学院医学系研究科皮膚病態学 教授

略歴

1980年	岐阜大学卒業 同大学皮膚科入局
1985年	県立岐阜病院皮膚科
1986年	岐阜大学皮膚科、助手
1988年	米国ニューヨーク大学皮膚科留学
1990年	岐阜大学皮膚科、助手
1992年	同、講師
1998年	大垣市民病院皮膚科、医長
2005年	同、部長
2009年	岐阜大学皮膚科教授
2018-2020年	岐阜大学病院 病院長補佐

所属学会

日本皮膚科学会（評議員）、日本研究皮膚科学会（評議員）、日本乾癬学会（評議員）、
アジア乾癬学会（理事）、日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）、日本医真菌学会（評議員）、
日本アフェシス学会（理事）、日本皮膚病理組織学会（理事）、
American Academy of Dermatology, Society for Investigative Dermatology, European Academy of
Dermatovenereology, International Society for Apheresis, International Society for Human and
Animal Mycology

休憩

13:40～13:50（10分）

23 (一般) 耳介後部に黄色の皮膚硬化を認めた線状強皮症の 1 例

よしみつ まき
吉満 真紀、西田 絵美

岡崎市民病院

33 歳、女性。初診時の約 1 カ月前から左耳介後部に黄色の皮膚硬化を認めた。皮膚生検により線状強皮症と診断。

24 (ス) 環状肉芽腫を合併した全身性強皮症の 1 例

すみがま あんな¹⁾、周 円¹⁾、水谷 陽子¹⁾、宮崎 龍彦²⁾、清島 真理子¹⁾

¹⁾岐阜大学、²⁾同病理部

64 歳、女性。3 年前からレイノー症状を自覚、4 か月前から手背に扁平結節が出現。環状肉芽腫を合併した全身性強皮症と診断。

25 (ス) 壊疽性膿皮症を合併した腸管ペーチェット病の 1 例

さわ みらい¹⁾、大見 修也¹⁾、竹中 花子¹⁾、吉川 真人¹⁾、井上 優貴¹⁾、大河内 建²⁾、
澤田 昌樹¹⁾

¹⁾名古屋第一赤十字病院、²⁾同消化器内科

33 歳女性。腸管ペーチェット病としてステロイド治療を開始。経過中、左足背に巨大潰瘍を生じた。

26 (一般) 抗 IL-1 療法を行ったシュニッツラー症候群の 1 例

かんべ なおとも
神戸 直智、滝本 莉子、藤澤 章弘、大塚 篤司、梶島 健治

京都大学

抗 IL-1 療法により発熱や倦怠感、炎症所見（好中球優位の白血球数上昇や CRP）は改善したが、IgM 高値は持続している。

27 (一般) *PSMB8* の新規変異を伴う中條・西村症候群の幼児例

かなざわ のぶお^{1, 2)}、中谷 友美²⁾、本田 吉孝³⁾、井澤 和司³⁾、西小森 隆太⁴⁾

¹⁾兵庫医科大学、²⁾和歌山県立医科大学、³⁾京都大学発達小児科、⁴⁾久留米大学小児科

生後 7 か月頃から耳介や手指の凍瘡様皮疹、1 歳頃から 38 度台の発熱が出現。*PSMB8* に新規一塩基欠損を伴う複合ヘテロ変異を認めた。

28 (一般) 膝に生じた皮膚ノカルジア症の 1 例

なかがわ ゆあ¹⁾、松原 章宏²⁾、村松 伸之介¹⁾

¹⁾江南厚生病院、²⁾知多厚生病院

70 歳、男性。初診 7 年前に左膝受傷。左膝に膿疱を認め、培養で *Nocardia brasiliensis* と同定、原発性皮膚ノカルジア症と診断した。

29 (一般) 関節リウマチ患者に生じた *Exophiala xenobitica* による phaeohyphomycosis の 1 例

岡村 直之¹⁾、永井 美貴¹⁾、丹羽 宏文¹⁾、岩田 仁²⁾、矢口 貴志³⁾

¹⁾岐阜県総合医療センター、²⁾同病理診断科、³⁾千葉大学真菌医学研究センター

83 歳男。RA で治療中。2 か月前右手背に皮下腫瘍出現。排膿、培養し ITS 領域塩基配列解析で *E. xenobitica* による黒色菌糸症と診断。

30 (ス) 左腋窩に生じた皮膚腺病の 1 例

福井 ちひろ¹⁾、守屋 智枝¹⁾、松山 かなこ¹⁾、宮崎 龍彦²⁾、米玉利 準³⁾、清島 真理子¹⁾

¹⁾岐阜大学、²⁾同病理部、³⁾同中央検査部細菌室

45 歳女。1 か月前より左腋窩に常色腫瘍。生検で抗酸菌検出し PCR と培養で結核菌同定。皮膚腺病と診断し全摘後抗結核薬投与。

セッション 5

14:40~15:23

座長

守屋 智枝

31 (ス) 皮膚所見を契機に診断に至った胃梅毒の 1 例

榎原 あゆみ、馬淵 友久美、足立 秀禎、鈴木 伸吾

豊田厚生病院

37 歳男性、掌蹠の紅斑で受診し血液検査で梅毒と診断。胃炎あり 3 か月前に GIF で採取されていた検体染色したところ胃梅毒であった。

32 (ス) 播種性 *Corynebacterium jeikeium* 感染症により紫斑を生じた一例

大見 修也¹⁾、澤 美麗¹⁾、竹中 花予¹⁾、吉川 真人¹⁾、江口 基紀²⁾、澤田 昌樹¹⁾

¹⁾名古屋第一赤十字病院、²⁾同血液内科

29 歳男、急性リンパ性白血病患者が熱発、右上下肢紫斑も出現。血液培養と下腿紫斑組織培養から播種性 *C. jeikeium* 感染症と診断。

33 (一般) 再発性陰部蜂巣炎の 1 例

中島 あづき、高間 寛之、岩下 宣彦、柳下 武士、渡辺 大輔

愛知医科大学

22 歳、男性。数年前から陰部腫大が持続し、突発的な陰部蜂巣炎を繰り返す。原因としてプロテイン S 活性低下が考えられた。

34 (ス) 副鼻腔炎から左上眼瞼蜂窩織炎を呈した一例

竹中 花予、大見 修也、澤 美麗、吉川 真人、澤田 昌樹

名古屋第一赤十字病院

77 歳女性。副鼻腔炎から炎症が波及し左上眼瞼の蜂窩織炎に至ったと考えられる一例を報告する。

35 (一般) *Arthrini*による深在性皮膚真菌症の1例

小林 三佐子¹⁾、柳下 武士¹⁾、大嶋 雄一郎¹⁾、渡辺 大輔¹⁾、小森 綾²⁾、槇村 浩一²⁾

¹⁾愛知医科大学、²⁾帝京大学大学院医学研究科 医真菌学

74歳男性。木片異物により右下腿に紅色皮下硬結が出現。検査にて *Arthrini* と同定。テルビナフィン塩酸塩内服で治療。

36 (一般) 犬疥癬の1家族例

和田 康夫

赤穂市民病院

家族3人に湿疹病変を認めた。家族には虫体がいなかったが、飼い犬からヒゼンダニを認めた。

37 (一般) Hutchinson 徴候を認め急性網膜壊死に至った帯状疱疹の1例

岩田 奈子、小田 隆夫、服部 由季、宮崎 愛子、安井 由希子、中村 元樹、加藤 裕史、森田 明理

名古屋市立大学

74歳、男性。Hutchinson 徴候を伴う左三叉神経第一枝領域帯状疱疹を認め、動眼神経麻痺、急性網膜壊死を合併した一例を報告する。

セッション 6

15:23~16:13

座長

高木 肇

38 (一般) 高齢者の踵部動静脈奇形の一例

池谷 宗一郎¹⁾、吉川 剛典¹⁾、阪野 弘之²⁾、亀井 譲³⁾、秋山 真志¹⁾

¹⁾名古屋大学、²⁾阪野皮膚科、³⁾名古屋大学形成外科

74歳、女性。年来の右踵部の腫脹が約2か月前から増悪、潰瘍を形成。同部位に拍動を触れ、造影CTにより動静脈奇形と診断。

39 (一般) 眼球結膜に生じた乳児血管腫と考えた1例

神人 正寿¹⁾、坂田 真理子¹⁾、山本 有紀¹⁾、白井 久美²⁾、武内 崇³⁾、鈴木 啓之³⁾

¹⁾和歌山県立医科大学、²⁾同眼科、³⁾同小児科

生後4ヶ月女児。生後2週ごろに頭頂部と左側腹部、右眼球結膜に紅色斑が出現し徐々に増大。臨床経過より乳児血管腫と考えた。

40 (一般) 本邦における症候型の眼皮膚白皮症 (OCA) について

鈴木 民夫、岡村 賢、齋藤 亨、荒木 勇太、穂積 豊

山形大学

日本人OCAでは、稀と考えられてきた Hermansky-Pudlak 症候群が約20%を占めることが明らかになった。

41 (一般) ベドリズムブによって改善した難治性の多発性円形脱毛症

伊藤^{いとう} 泰介^{たいすけ}、影山 玲子、藤山 俊晴、本田 哲也

浜松医科大学

20代、男性。潰瘍性大腸炎に対する抗TNF- α 抗体によって円形脱毛症は悪化したが、その後、ベドリズムブには著効を示した。

42 (一般) 結節性紅斑様皮疹を呈し、組織学的にサルコイド血管炎を認めた1例

山本^{やまもと} 俊幸^{としゆき}

福島県立医科大学

39歳男性。2年前より肺サルコイドーシス。2か月前より両下肢に索状硬結を伴う浸潤性紅斑が多発。生検でサルコイド血管炎の像。

43 (ス) 病理学的に Dermatofibroma との鑑別を要した高齢者の Xanthogranuloma の一例

植田^{うえだ} 麻理子^{まりこ}¹⁾、竹田 さゆり¹⁾、山田 尚人¹⁾、梶村 有里子¹⁾、滝 笑津子¹⁾、嘉陽 織江¹⁾、清水 真¹⁾、岩越 朱里²⁾、原 一夫³⁾

¹⁾名古屋医療センター、²⁾同病理診断科、³⁾愛知医科大学

92歳男性。5ヶ月前に発症した左肩の紅色結節に対し全摘手術施行。病理学的に Touton 型巨細胞の浸潤を認め Xanthogranuloma と診断。

44 (ス) 陰囊縫線部に発生した多房性アポクリン汗嚢腫の一例

松居^{まつい} 志洋^{ゆきひろ}¹⁾、神谷 秀喜¹⁾、北島 康雄¹⁾、杉山 誠治²⁾、松永 研吾²⁾

¹⁾木沢記念病院、²⁾同病理診断科

46歳男性、数年前から陰囊縫線部に数珠状の皮下結節を自覚していた。組織学的にアポクリン汗嚢腫と診断した。

45 (ス) Giant Cell Reticulohistiocytoma の1例

鈴木^{すずき} 由以佳^{ゆい か}、安藤 かおり、岩瀬 優子

協立総合病院

22歳男性。右口角に単発性の紅色隆起性腫瘤が出現し、生検により Giant Cell Reticulohistiocytoma と診断。外科的切除を行った。

休憩

16:13～16:20 (7分)

46 (ス) 手掌に生じた萎縮性皮膚線維腫の 1 例

山内 ^{やまうち} あい子、今西 ^{いまい} 久幹、岳崎 ^{たけざき} 彩香、大迫 ^{おほせ} 順子、鶴田 ^{つるだ} 大輔

大阪市立大学

37 歳、女性。3 ヶ月前より左手掌に圧痛を伴う、軽度陥凹した皮下硬結を自覚。皮膚生検にて皮膚線維腫と診断。

47 (ス) 上腕に生じた Pilar sheath acanthoma の 1 例

渡邊 ^{わたなべ} 清未^{1,2)}、欠田 ^{せいな} 成人²⁾、山中 ^{やまなか} 恵一¹⁾

¹⁾三重大学、²⁾済生会松阪総合病院

30 代女性。約 1 年前より左上腕に緩徐に増大する無症候性、半米粒大の陥凹伴う小豆大の腫瘤。全摘切除し診断。

48 (一般) 上口唇の有棘細胞癌の一例

山田 ^{やまだ} 友菜、岩田 ^{いわた} 洋平、田中 ^{たなか} 義人、有馬 ^{ありま} 豪、杉浦 ^{すぎのうら} 一充

藤田医科大学

79 歳女性。上口唇の有棘細胞癌 (10*8mm) を全摘出し単純縫縮。術後 6 ヶ月経過し口の機能障害、再発・転移は認めない。

49 (ス) Mohs ペーストで出血コントロールを行った頭部巨大有棘細胞癌の一例

岩田 ^{いわた} 真衣、藤城 ^{ふじぎ} 里香、太田 ^{おおた} 早紀、今井 ^{いまい} 聡子、山田 ^{やまだ} 元人

豊橋市民病院

83 歳女。前頭部から頭頂部にかけて持続的に出血をきたす有棘細胞癌あり。Mohs ペーストで良好な止血が得られた。

50 (一般) 帝王切開術後瘢痕に生じた SCC の 1 例

榊原 ^{さかきばら} 潤^{1,2)}、岩田 ^{いわた} 洋平¹⁾、山北 ^{やまきた} 高志²⁾、杉浦 ^{すぎのうら} 一充¹⁾

¹⁾藤田医科大学、²⁾刈谷豊田総合病院

73 歳女性。帝王切開術後瘢痕上に小硬結を自覚。急速に増大し、11.5cm 大の紅色腫瘤を形成。全摘標本の病理所見にて SCC と診断。

51 (一般) 蜂窩織炎様の臨床を呈し下腿に再発した節外性 NK/T 細胞リンパ腫鼻型の 1 例

横田 ^{よこた} 菜穂、中井 ^{なかい} 康雄、波部 ^{なべ} 幸司、山中 ^{やまなか} 恵一

三重大学

下腿に発赤腫脹を来たし蜂窩織炎として加療するも改善せず。皮膚生検施行し、節外性 NK/T 細胞リンパ腫鼻型の再発と診断した。

52 (一般) 名古屋市立大学皮膚科での乳房外 Paget 病 104 例における発生部位の統計学的解析

安井 由希子¹⁾、中村 元樹¹⁾、加藤 裕史¹⁾、松原 章宏²⁾、森田 明理¹⁾

¹⁾名古屋市立大学、²⁾知多厚生病院

当院における乳房外 Paget 病 104 例における発生部位について統計学的に解析し、予後に影響を及ぼすか検討を行った。

セッション 8

17:03~17:57

座長

水野 雄貴

53 (一般) 頭部に生じた悪性増殖性外毛根鞘性腫瘍の 2 例

久田 智子¹⁾、山田 益丈¹⁾、稲坂 優¹⁾、伊藤 有美¹⁾、岩田 洋平²⁾、小寺 雅也¹⁾

¹⁾JCHO 中京病院、²⁾藤田医科大学

60 代男性。頭部の腫瘍を主訴に来院。切除術を行い、悪性増殖性外毛根鞘性腫瘍と診断した。1 例は術後に放射線治療を行った。

54 (一般) 鼻翼に生じた無色素性基底細胞癌の 1 例

杉浦 美月¹⁾、岩田 洋平¹⁾、齋藤 健太¹⁾、塚本 徹哉²⁾、安田 滯奈³⁾、鈴木 究³⁾、岩月 啓氏³⁾、杉浦 一充¹⁾

¹⁾藤田医科大学、²⁾同病理診断科、³⁾藤田医科大学岡崎医療センター

70 歳、男性。2 年前から左鼻翼に常色腫瘍が出現し徐々に増大。摘出手術を行い、病理所見より無色素性基底細胞癌と診断。

55 (一般) アブスコパル効果を認めた右踵部原発悪性黒色腫の 1 例

西原 克彦¹⁾、白石 研¹⁾、吉田 諭¹⁾、三宅 啓介²⁾、佐山 浩二¹⁾

¹⁾愛媛大学、²⁾同形成外科

74 歳男性、右踵部原発悪性黒色腫 T2bN2aM0 stage3B の患者に対して、Pembrolizumab 投与中に全脳照射を併用した。

56 (一般) ペムブロリズマブによる関節炎を来した BRAF 変異陽性悪性黒色腫の 1 例

鈴木 究^{1,2)}、岩田 洋平¹⁾、齋藤 健太¹⁾、蜂谷 芳可¹⁾、杉浦 一充¹⁾

¹⁾藤田医科大学、²⁾藤田医科大学岡崎医療センター

74 歳女性。左足背悪性黒色腫に対しペムブロリズマブ補助療法を施行。CRP 上昇と両手指手関節炎を認め、プレドニゾロンで改善。

57 (一般) ニボルマブ・イピリムマブ併用療法により筋炎を来たした悪性黒色腫の 1 例

^{むこうがわ さき} 向川 早紀¹⁾、^{おしむら じゅん} 尾松 淳¹⁾、^{うじょう ひろあき} 上條 広章¹⁾、^{ながい こうしちろう} 永井 幸司郎¹⁾、^{みやけ ちかみ} 三宅 知美¹⁾、^{みやがわ たくや} 宮川 卓也¹⁾、^{さとう しのぶ} 佐藤 伸一¹⁾、^{まへがわ ゆきあき} 前川 裕貴²⁾、^{うちのへ ひろあき} 内上 寛一²⁾、^{いしづか ひろゆき} 石浦 浩之²⁾、^{こうた ともひさ} 戸田 達史²⁾

¹⁾ 東京大学、²⁾ 同神経内科

63 歳女。ニボルマブ・イピリムマブ併用療法 2 回目投与後に CK、トロポニン I 上昇あり。irAE としての筋炎を考え PSL、IVIg で加療。

58 (ス) ドキソルビシンが著効した AIDS 合併カポジ肉腫の一例

^{やまだ なおと} 山田 尚人、^{たけがわ けい} 嘉陽 織江、^{つげ えみ} 滝 笑津子、^{あがら りほ} 相村 有里子、^{たけの さいゆり} 竹田 さゆり、^{うゑの あり} 植田 麻理子、^{しみず まこと} 清水 真名
名古屋医療センター

27 歳男。トキソプラズマ脳症で発症した AIDS 患者。カポジ肉腫に対し抗 HIV 療法だけでは改善乏しくドキソルビシン追加し著効した。

59 (一般) 古典型カポジ肉腫の 1 例

^{かとう あきひろ} 加藤 彰大、^{なかむら げん} 中村 元樹、^{いわた なほ} 岩田 奈子、^{あらい ゆきこ} 安井 由希子、^{こゐだ たけお} 小田 隆夫、^{なかの り} 中田 礼、^{かとう ゆき} 加藤 裕史、^{もりた あり} 森田 明理

名古屋市立大学

57 歳、中国人男性。左足内顆の皮下腫瘤に対し摘出術を施行。HIV 陰性であり、病理結果より古典型カポジ肉腫と診断した。

60 (一般) V.A.C.Ulta®を用いて分層植皮術を施行した下腿デグロロービング損傷の 1 例

^{すぎおか きょうこ} 杉岡 恭子¹⁾、^{やまもと すすも} 山本 晋也¹⁾、^{よこた せいの} 横田 菜穂¹⁾、^{せの かな子} 粗野 可南子²⁾、^{なかい こうゆう} 中井 康雄¹⁾、^{なべの こうし} 波部 幸司¹⁾、^{なりしま さんち} 成島 三長²⁾、^{やまなか けい} 山中 恵一¹⁾

¹⁾ 三重大学、²⁾ 同形成外科

72 歳男性。鉄板落下により受傷した下腿デグロロービング損傷に対して V.A.C.Ulta®を用いて分層植皮術を施行。

第 296 回 日本皮膚科学会東海地方会 予告

日 時：2021年6月20日（日）11:00～17:00（予定）

会 場：ミッドランドホール（COVID-19の状況によりWEB開催となる可能性もございます。）

演題受付：2021年4月6日（火）～2021年5月11日（火）

申 込 先：オンライン受付

日本皮膚科学会東海地方会ホームページ

<http://jd-tokai.umin.jp/>

演題申込方法

- 東海地方会 HP の「演題登録」ページから要項に従って登録してください。
- 「日皮会誌」掲載用抄録（200文字以内）も登録時に入力が必要です。
- 演題受領通知は登録完了後にメールが自動配信されますので必ず確認してください。

発表方法

- 一般演題：口演5分、質疑応答2分／スライド供覧：口演3分、質疑応答2分
- 詳細は演題受付の締切後、メールにてご案内いたします。

スケジュール

11:00 生涯教育講演会

演者：神谷 秀喜 先生（木沢記念病院皮膚科部長）

12:10 ランチョンセミナー

13:20 地方会 演題発表

第 296 回担当校

岐阜大学大学院医学系研究科皮膚病態学

担当：水谷 陽子

E-mail：yoko@gifu-u.ac.jp

事務局便り 2021年3月

●東海地方会開催日程

	開催日	会場	担当校
第296回	2021年6月20日(日)	ミッドランドホール	岐阜大学
第297回	2021年9月26日(日)	ウインクあいち	愛知医科大学
第298回	2021年12月12日(日)	ミッドランドホール	名古屋大学
第299回	2022年3月13日(日)	名古屋近郊	名古屋市立大学

●2021年度 年会費請求について

2021年度の年会費4,000円【会員期間2021年4月1日～2022年3月31日】の請求書を各会員にお送りいたしました。コンビニ専用振込票の入金期限(2021年3月31日)までにご入金ください。期限以降は次の口座にご入金(その場合は年会費のみ)ください。

ゆうちょ銀行 ○八九店(ゼロハチキュウ) 当座 0056706 日本皮膚科学会東海地方会
--

なお、規約により2年間未納の場合は会員資格を失いますのでご注意ください。

●学会ホームページをご活用ください <http://jd-tokai.umin.jp/> > 地方会事務局

- ・入会申込書 ・住所変更届 ・留学届(休会願) ・帰国届 ・退会届 がご利用できます。
- ・評議員会議事録、申し合わせ事項が閲覧できます。 パスワード: tdjda

●変更届ご提出のお願い

転居や転勤された場合には、かならず当会事務局へ変更届をお送りください。プログラムはメール便で発送しますので、変更届の未提出はプログラムなどが届かない原因となります。

●事務局交代

2020年4月1日より、地方会事務局は三重大学医学部皮膚科が担当しております。

●2020年度 評議員(2021年3月1日現在)

会長	山中 恵一	三重大学	評議員	岩下 宣彦	愛知医科大学
評議員	山本 晋也	三重大学	評議員	安藤 聖美	みよし市民病院
評議員	山際 秋沙	鈴鹿中央総合病院	評議員	中瀬古裕乃	よもぎ台皮膚科クリニック
評議員	磯田 憲一	みえひふ科クリニック	評議員	中村 元樹	名古屋市立大学
評議員	水谷 陽子	岐阜大学	評議員	久保 良二	蒲郡市民病院
評議員	脇田 智子	岐阜赤十字病院	評議員	仁上 律子	しおがま皮膚科クリニック
評議員	雄山 瑞栄	おやま皮膚科クリニック	評議員	岩田 洋平	藤田医科大学
評議員	横田 憲二	名古屋大学	評議員	山北 高志	刈谷豊田総合病院
評議員	稲垣 克彦	東濃厚生病院	評議員	佐々木良輔	あつた皮膚科クリニック
評議員	星野 慶	星野皮膚科			

変 更 届

	新	旧
ふりがな 氏 名		
E-mail		
ご自宅住所	〒	〒
	TEL : FAX :	TEL : FAX :
ご所属先		
ご所属先住所	〒	〒
	TEL : FAX :	TEL : FAX :
書類送付先	ご自宅 ・ ご所属先	

日本皮膚科学会東海地方会 事務局代行

〒451-0075 名古屋市西区康生通 2-26 株式会社 オフィス・テイクワン内

FAX : 052-508-8540 / E-mail : tdjda-hq@umin.ac.jp

変更届は当事務局に郵送または FAX、メールにてお送りください。

日本皮膚科学会の事務局とは異なりますので、ご注意ください。